

平成 28 年度当初予算編成に寄せられた意見と市の考え方について

(1) 意見募集結果

意見募集期間	平成 27 年 12 月 11 日～平成 27 年 12 月 25 日
意見募集結果	提出者数 1 名、 提出件数 3 件
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 0 件

(2) 意見内容と市の考え方

No.	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載してあります	意見に対する考え方	案の修正の有無
1	<p>「消防団運営一般事務費」 「消防団活動支援事業」 両者の事業の概要に重複しているようなものが見受けられる、特に出初式とか消防操法大会。それに付随した旅費や食糧費がある（節別内訳）。</p> <p>消防団における出初式なり操法大会はいわば例年行事であって、本来ならば臨時経費ではなく經常経費に計上されるべきものではないのか。人口減少社会にも拘わらず、今後も消防団を育成・強化していくのであれば、經常経費を増やしていくべきではないのか。</p> <p>人口統計学によれば、人口減少社会はかなり長期にわたると指摘している。それ故佐倉市の主観的努力は実ることが難しいと考えている。それよりも少しでもよいから 2 市 1 町で常備消防を増やす努力をした方が効果があると思う。同時に、住民の自主性をベースにした自主防災を継続的に支援することも重要だと思う。</p>	<p>・<b>經常経費と臨時経費について</b> 佐倉市では、毎年固定して支出するものは經常経費に、定例の事業であっても政策的に見直しができるものは臨時経費に区分して予算を編成しております。 消防団の育成・強化は、市民の安心・安全な暮らしの確保のための重要な取り組みの 1 つであると認識していますが、消防団活動支援事業につきましては、政策的な見直しが可能なため臨時経費としております。</p> <p>・<b>佐倉市の消防行政について</b> 社会経済情勢の変化（少子高齢化の進展、自営業者の減少、市域を越えて通勤する住民の増加等）により消防団員の確保が困難となっております。 しかし、東日本大震災等の経験から、地域に密着し、災害が発生した場合に地域で即時に対応できる消防機関である消防団の役割は益々大きくなり、国も「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を制定し、消防団の充実強化を求めています。 火災現場においては、消火活動以外にも水利の確保や交通整理・誘導・残火監視等多くの手が必要のため、消防団の存在は必須なものであり、佐倉市においても広報紙や広報番組・HP 等を通じて消防団活動を周知し理解を得ることで団員の確保を図るとともに消防自動車や団員装備の更新や拡充を実施することで消防団の強化に努めております。 そして、引き続き佐倉市八街市酒々井町消防組合の構成市町と協力して、常備消防力の充実に努めてまいります。 また、住民の共助を推進するため自主防災組織の結成を促進しており、結成時に資機材の貸与をし、その後も活動費の助成や防災訓練実施時に職員を派遣する等の援助を継続的に実施してまいります。</p>	無

No.	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載してあります	意見に対する考え方	案の修正の有無
2	<p>「視聴覚教材ライブラリー管理運営事業」以前にも指摘したが、16ミリ映写機とそのフィルムの維持は、今後ますます費用がかかり、近い将来ものすごく高額になると予想できる。</p> <p>他方、市の広報かHPで知ったのだが、中央公民館にはかなりのDVDストックがあり、在庫一覧リストがあり自治会などが利用できることを知った。</p> <p>DVDは持ち運びも便利だし、映写にも特別の技術は不要である。ただプロジェクターとスクリーン（または白い壁かホワイトボードでもよい）があれば簡単に映し出せる。</p> <p>VHSテープもカセットテープも今では簡単に低額でデジタル化できる。中央公民館が所蔵している貴重な佐倉市の民俗行事などの16ミリも早くデジタル化した方がよい。</p> <p>予算をつけるのなら早くデジタル化して多くの市民に利用してもらう方がはるかによいのではないか。また将来市が現在の佐倉市の発展や観光行事等を記録するときにはもはや16ミリ技術ではなく、デジタルになるのは明白である。そうしたことも考慮して早く転換した方がよい。</p>	<p>日頃より、佐倉市視聴覚ライブラリーをご利用いただき、ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、DVDは、16ミリフィルムと異なり特別な技術を必要とせずに視聴でき、維持・管理も簡便に行うことができるというメリットがあります。</p> <p>しかし、佐倉市で所蔵している16ミリフィルムのほとんどは市販の映像作品であり、DVDに複製することは著作権法上できません。</p> <p>また、佐倉市の民俗行事などの16ミリフィルムについても、著作権等の関係からすぐにデジタル化することは難しいと考えておりますが、貴重な資料を有効活用するため、今後、調査研究を進めて参りたいと思います。</p>	無
3	<p>「スポーツ施設整備事業」もともと多目的広場のために30億円強もかけて購入した土地ではないのに、いつの間にか多目的広場になってしまった。それはそれでどうしようもないとしても今度はトイレ、井戸と駐車場を造るための予算が提出された。</p> <p>土地の利用方法も成り行き任せで今日に至り、今度はそれに約6千万円もかけてトイレ、井戸、駐車場を造ると。一体どういう長期的展望があってそのような考えが出てきたのだろうか。</p> <p>佐倉市の総合計画の歴史・文化・自然をテーマにした観光活性化に約6千万円使用するというのであれば、なるほどと納得も行くが、過去の経緯から見てこの場所にこんなに多額の予算をつけることは賛成できない。</p> <p>二言目には財政が厳しい、歳入の減少が見込まれると言いつけているのだから、もっと喫緊の課題等に予算を傾注した方がよいと考える。</p> <p>過去何十年とトイレも井戸も駐車場もなかったのに、広場を利用する人はそのように利用してきた。</p>	<p>西志津スポーツ等多目的施設用地のトイレにつきましては、現在朝夕をはじめとして、ラジオ体操やグラウンドゴルフ、ジョギングやウォーキング、子どもの遊び場として多くの利用者がいらっしゃいますが、仮設トイレの設置を開始いたしました平成14年より、トイレの臭いや清潔感、砂利駐車場の波打ちによる水たまり等について、多くのご意見をいただいております。</p> <p>また、本広場は、佐倉市地域防災計画の中で、仮設住宅建設候補地に位置付けられていることから、災害等により上下水道が使用できなくなった際にも使用できる公衆トイレの設置、及び上水道が使用できなくなった際にも飲み水を確保するための防災井戸の設置が必要不可欠であると考えております。</p> <p>以上のことから、市といたしましては、利用者の利便性の確保、災害時の対策といった観点より、公衆トイレ等を設置する必要性があると考えております。</p>	無